

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

| | | | | | | | |
|---------|---------------|-----|---------|--------|------|---------|--|
| 事務事業名 | 外国語指導助手学校派遣事業 | | | | 開始年度 | 平成10年度 | |
| 基本目標 | 教育内容の充実 | | | | 終了年度 | | |
| 担当課(局) | 教育総務課 | 担当係 | 教育総務 | 記入者 | 河野恵子 | 評価者 | 黒水日出夫 |
| 21年度決算 | 4,187 | 千円 | 22年度予算 | 4,710 | 千円 | 事業の実施方法 | <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 |
| 21年度人件費 | 437 千円 | | 22年度人件費 | 434 千円 | | 事業従事者数 | 0.06 人 0.06 人 |

◎事務事業の目的・内容

| | |
|-------|--|
| 事業の目的 | 保育園、小学校等における外国語活動の補助及び国際的な視野向上 中学校における外国語授業の補助及び英語暗唱弁論大会等への協力 |
| 事業の内容 | 町内保育園、小中学校に外国語指導助手を派遣し、外国語活動、外国語の授業支援及びコミュニケーション能力の素地を養う。 |

◎成果指標と活動指標

| | | |
|------|--------------|---|
| 成果指標 | 成果指標名 | 何を狙い、どのような成果が得られたのか |
| | # 英語暗唱弁論大会入賞 | 英語教諭と共に行う質の高い指導が生徒の学力向上につながり、東見湯英語暗唱・弁論大会(弁論の部)において入賞することができた |
| | 2 | |
| 活動指標 | 活動指標名 | どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に |
| | # 保育園への派遣回数 | 小中学校の春・夏・冬季休業時期を中心に、各園の行事に参加し園児と交流した |
| | 2 小学校での活動回数 | 小中連携事業により中学校英語教諭が行う外国語活動の補助等に従事した |
| | 3 中学校での指導時間数 | 英語教諭が行う授業を補助し、授業の充実を図った |

◎達成状況

| 指標名 | | 単位 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|------|------------|-----|---------|---------|---------|
| 成果指標 | 英語暗唱弁論大会入賞 | 目標値 | 1 | 2 | 1 |
| | | 実績値 | 2 | 1 | |
| | | 達成率 | % | 200.0% | 50.0% |
| | 0 | 目標値 | | | |
| | | 実績値 | | | |
| | | 達成率 | % | #DIV/0! | #DIV/0! |
| 0 | 目標値 | | | | |
| | 実績値 | | | | |
| | 達成率 | % | #DIV/0! | #DIV/0! | |
| 活動指標 | 保育園への派遣回数 | 目標値 | 40 | 34 | 32 |
| | | 実績値 | 39 | 32 | |
| | | 達成率 | % | 97.5% | 94.1% |
| | 小学校での活動回数 | 目標値 | 49 | 54 | 51 |
| | | 実績値 | 45 | 51 | |
| | | 達成率 | % | 91.8% | 94.4% |
| | 中学校での指導時間数 | 目標値 | 225 | 396 | 362 |
| | | 実績値 | 198 | 362 | |
| | | 達成率 | % | 88.0% | 91.4% |

◎事務事業の評価

| | | |
|--------------|--|--|
| 妥当性 (必要性) | ◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか | 義務教育期間の学校教育充実のため町が行うべき事業と考えられる。また、平成23年度から完全実施となる小学校外国語活動を円滑にすすめていくために必要である。事業を廃止した場合、小中学校における外国人との英語活動経験の機会を失うことになる。 |
| 有効性 | ◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか | 外国人が英語授業の助手をすることで、外国人に対する苦手意識が減少し外国語への興味・関心が向上している。7月末までは、平成16年来日のALTが5年間勤務したこともあり児童生徒との交流も深まった。新ALTも母国の文化等の情報提供及び児童生徒との会話や交流を通じ国際的な視野の拡大につながっている。 |
| 効率性 | ◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか | 学校での活用内容は派遣した学校によって異なるが、学校行事等および派遣要望確認を行い効率的な派遣を行うことで、小学校での活動時間、中学校での指導時間を増加することができた。外国青年招致事業(JETプログラム)により外国人指導助手(ALT)を受け入れているため報酬額が決められている。住宅に関して全て個人での契約とし経費を削減した。 |
| 協働性 | ◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等) | 児童生徒に対する外国語活動及び授業の指導補助のため、町民との協働の予定はない。 |

| | | | |
|-------|---------------|--------|-------|
| 事務事業名 | 外国語指導助手学校派遣事業 | 担当課(局) | 教育総務課 |
|-------|---------------|--------|-------|

◎総合評価(今後の方向性を含む)

| | | | | | | | |
|------|--|---|--------|----|------|----|--|
| 総合評価 | <p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p> | <p>一人でも多くの生徒に、外国語に触れ合う機会を与えたいという目標がしっかりとしている。</p> <p>以前は、選抜された生徒だけ外国語に触れていたが、現行のようにだれもが本場の英語に触れることができる事業は、継続していく価値があると思われる。</p> | 今後の方向性 | | | | |
| | | | 事業の方向性 | 拡充 | | | |
| | | | 現状維持 | | | ○ | |
| | | | 縮小 | | | | |
| | | | 廃止 | | | | |
| | | | 廃止 | 縮小 | 現状維持 | 拡充 | |
| | | | コスト | | | | |

| | | | |
|------------------|-----|------|--|
| 事務事業評価委員会 評価欄 | 事業 | 現状維持 | <p>◎小学校の英語の義務化がされるのであれば、ますます重要視されてくる。効果的な事業の展開を望む。</p> <p>◎町内の児童生徒が本物の英語に触れることができる経験を積ませることは必要である。</p> <p>◎学習指導要領改定により拡充が望まれる。</p> |
| | コスト | 現状維持 | |